

一般社団法人 日本ボクシング連盟 令和2年度 第8回理事会議事録

| | | | |
|---|-----------|----------------------------------|---|
| 1 | 招集通知年月日 | 令和 2年12月20日(土) | |
| 1 | 開催年月日及び時刻 | 令和 2年12月27日(日) | 14:05~16:10 |
| 1 | 開催場所 | テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用したオンライン会議 | |
| 1 | 出席・資格確認 | 理事 | 22名中Web出席 18名 欠席 4名 (関口理事・後藤理事・篠原理事・中島理事) |
| | | 議決権数 22個中18個 | |
| | 監事 | 2名中 Web出席 | 2名 欠席 0名 |
| | 顧問 | | 0名 |
| | オブザーバー | | 2名 |

開会 (14時05分)

定款第34条に則り、仲間専務理事が議長となった。議長は、テレビ会議用アプリケーション Zoom を使用してWEB出席を行っている理事及び監事、オブザーバーの回線が正常に稼働していることを相互に確認し、本理事会は適法に成立した旨を宣した。次いで定款38条2項により会長及び監事が署名人となることが報告された。書記には大政理事、池端理事が指名され議案の審議に入った。

1 議事の経過の要領及び議案審議の結果

1) 報告事項

- ・AIBA 会長選の結果について(執行部:資料なし)
仲間専務理事より、AIBA 会長選の結果について、過半数獲得まで投票が繰り返されロシアのウマル・クレムレフ氏が当選し、IOCの評価が心配であることが説明された。特に質疑はなかった。
- ・ガバナンスコード適合性審査の状況に関して(公益法人化委員会:資料2)
富岡副委員長より、ガバナンスコード適合性審査の状況に関して説明がされた。特に質疑はなかった。
- ・その他 加盟団体規定整備状況について(公益法人化委員会:資料3)
富岡副委員長より、加盟団体規定整備状況について説明された。特に質疑はなかった。
- ・業務執行規定(案)について(公益法人化委員会:資料4)
富岡副委員長より、業務執行規定の案について説明された。吉沼理事より1点指摘があったが特に質疑はなかった。
- ・JSP0 勲章及び褒章受賞者について(執行部:資料5)
仲間専務理事より、JSP0 勲章及び褒章受賞者について説明がされた。内田会長と菊池理事より質問と補足がありガバナンスコードとの整合性に疑問が生じた。
- ・報奨規定(案)について(執行部:資料6)
仲間専務理事より、報奨規定の案について、ここでは大枠を決めて、後日に書面決議を諮りたいことが説明された。
- ・競技規則の変更の提案について(執行部:資料なし)
仲間専務理事より、競技規則の変更(体重計の設置)について、審判部より提案をいただき、後日に書面決議を諮りたいことが説明された。

・その他

内田会長より、和歌山県の遠藤氏の紹介で選手のマスクの提供があるがどの委員会で対応するか考えてほしい。→総務委員会が窓口になる。

2) 決議事項

・連盟の中長期計画の策定について（執行部：資料 7）

議長の要請により、連盟の中長期計画の策定について仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

中長期計画のたたき台の作成は専務理事、事務局長、マネージャーで担当し理事会に諮る。

以上

・JSP0 理事候補に関して（執行部：資料 8）

議長の要請により、JSP0 理事候補に関して仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

JSP0 理事候補として内田会長を推薦する。

以上

・留学生の支援事業について（執行部：別紙資料なし）

議長の要請により、留学生の支援事業について菊池理事より提案がなされた。質疑応答が行われ（内容は別添資料）賛成 16 名 反対 2 名で下記の通り議決された。

記

ニカラグア共和国とドミニカ共和国からの留学生を受け入れる国際貢献事業を実施する。

以上

・顧問について（執行部：資料なし）

議長の要請により、顧問について仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

役員として顧問（議決権なし）を設ける。任期は会長の任期と合わせる。会長の専権事項とし事後に理事会に報告する

以上

・倫理委員会規則改定について（執行部：資料なし）

議長の要請により、倫理委員会規則改定について仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

倫理委員会の構成は、法律の専門家も選出することやジェンダーバランスにも配慮することを明記した倫理規程の改定を行う。

以上

・審判部規則改定について（執行部：資料なし）

議長の要請により、審判規則改定について仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

競技会では、出身母体（都道府県・学校）等の利害関係がない審判員の選出をすることを明記した審判部規則の改定を行う。

以上

・スポンサー規約に関して（執行部：資料なし）

議長の要請により、スポンサー規約に関して仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

三者契約が締結できない企業（シンボルアスリートやネクストシンボルアスリート含む）からは、契約金額の10パーセントの支払いを免除する。

以上

- ・日本スポーツグランプリ候補者推薦について（執行部：資料9）
議長の要請により、日本スポーツグランプリ候補者推薦について仲間専務理事より提案がなされ、満場一致で下記の通り議決された。（特に質疑はなかった。）

記

該当者なし

以上

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、16：10に閉会した。

以上の決議を明確にするために、この議事録を作成し、定款第38条第2項に従い出席した内田会長及び監事が議事録署名人としてこれに記名押印する。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。

令和 年 月 日

議事録署名人

議事録署名人

議事録署名人

